

誰もが「普通」を生きたかった。

誰かに、届け。

コロナ禍を描いた、
3本のオムニバスストーリー。

to...



東出 薫 植松 優 藍川 きあら 清水 陽介 竹内 詩乃 猪 征大

監督 塩野 峻平

主題歌：[Part.1] 「なんでもない今日」 早希 [Part.2] 「あなたへ」 Day and Night [Part.3] 「溶けないように」 マリナ

プロデューサー：中村 綾葉 原案・脚本・編集：塩野 峻平 撮影・照明：近藤 実佐輝

録音：大津 研・釘本 勇気・園田 見平・中山 春佳 美術：じんりょうすけ 制作：中山 春佳・中村 優希・松田 美羽

カラーグレーディング・コンポジター：堤 脩太郎 ポスター・フライヤーデザイン：渡辺 淳一 WEBサイト制作：渡辺 淳一

2021to-someone.com

制作 RARERU

— 2020年、世界中の人が「普通」を生きたかった。 コロナ禍で悩み、もがき、進んでいく若者たちの物語。

100名を超えるオーディションの中から選ばれたのは、植松優、東出薫、清水陽介、藍川きあら、猪征大、竹内詩乃。登場人物同様、コロナ禍で生きる6人の若い出演陣が集った。挿入歌は、YOASOBIのikuraも所属した、ぷらそにかの現メンバーである早希、YouTubeにて6.5万人以上のチャンネル登録者を持ちTikTokでも人気を誇るDay and Night、力強い歌声でインディーズ界隈を沸かせ精力的にライブ活動を行うマリナの3組が本作のために楽曲を書き下ろした。それぞれの視点、それぞれの役割で、コロナ禍の「今を生きること」を描いた作品だ。



Part 1.

小松 × 立野

地方出身の大学1年生立野は、進学のために上京したが、コロナの影響で講義がオンライン授業となり、大学に通えないため、実家に帰る決断をしたのであった。立野の隣人の小松は、思い描いていた大学生活を送れなかったことに対し、複雑な思いを抱く立野の話を聞いて、立野が東京で過ごす最後の日に、彼女を1日だけの東京観光に誘う。

Part 2.

光 × 要

要は実家の中華料理屋で働き、要の幼なじみの光は大学3年生で就職活動をしている。コロナ禍という状況の中で、要の実家の中華料理屋はだんだんと客足が減っていき、光もオンラインでの就活面接が続くなど、それぞれの状況でやりにくさや、将来の不安などを感じている。光はそんな状況の中で、春から故郷を離れ、東京の会社に就職することを要に伝える。



Part 3.

楠本 × 大内

倉庫でアルバイトをしながら劇団で役者をしている大内は、コロナ禍で役者として表現ができる場を失っていた。小規模ながら舞台の活動を再開し始めた時、大内は、公演に頻繁に足を運ぶ女子高生・楠本にどこか不思議な感覚を感じる。舞台上上がるたびに楠本を気に掛ける大内。コロナでそれぞれの生活が一変した2人の間には、舞台演劇を通じ自然と繋がりができる。



東出薫 植松優 藍川きあら 清水陽介 竹内詩乃 猪征大 監督：塩野峻平「レイディオ」

主題歌：Part.1「なんでもない今日」早希 Part.2「あなたへ」Day and Night Part.3「溶けないように」マリナ

プロデューサー：中村綾葉 原案・脚本・編集：塩野峻平 撮影・照明：近藤実佐輝




録音：大津研 釘本勇氣・園田晃平・中山春佳 美術：じんりょうすけ 制作：中山春佳・中村優希・松田美羽

カラーグレーディング・コンポジター：堤脩太郎 ポスター・フライヤーデザイン：渡辺淳一 WEBサイト制作：渡辺淳一

(2022年/日本語/カラー/シネマスコープ/82分)



公式ホームページ

 @2021to_someone
 2021to_someone
 2021to-someone.com

2022. 4.30 (土) - 5.06 (金)

インディーズフィルム・ショー
新人監督特集vol.8にて上映!

■前売り鑑賞券 ——— 1,300円(税込)
■大学生・専門学校生 ——— 1,300円(税込)
■一般 ——— 1,500円(税込)

池袋西口・ロサ会館
池袋シネマ・ロサ
03-3986-3713
www.cinemasosa.net